

共用品推進機構だより 2015年07月03日 (12)

目次

(49) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(50) 賛助会員ニュース

▽「クラウドで話術向上／タカラトミー」

(51) 製品関連記事

▽「つえ ステキな相棒に 振動で危険伝達 LED で周囲に通知／カインドウェア」

▽「エアコン、位置情報で操作／タド (tado°)」

▽「東芝エレベータ、車椅子 2 台同時乗車」

▽「農作業アシストスーツ 軽く・安く、農家支える／クボタ」

▽「スズキ、電動で車いす引き上げ」

▽「ドアから引き戸に変身／YKKAP」

▽「介護用靴、着脱しやすく サイズ調整楽に／徳武産業」

(52) サービス関連記事

▽「車椅子用礼服レンタル／タキシードレンタル.com」

(53) 新刊紹介

▽『知っておきたい障がいのある人の SOS 4 体を動かしにくい人の SOS』

▽『知っておきたい障がいのある人の SOS 5 理解されにくい人の SOS』

▽『知っておきたい障がいのある人の SOS 別巻 被災地の人の SOS』

▽『私たちのしごと 障害者雇用の現場から』

-----  
(49) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

- ・早稲田大学 藤本研究室の学生に講義
  - ・「片手で使えるモノ展」 in 台湾
  - ・「片手で使えるモノ展」 in 台湾ースタッフ編
  - ・「片手で使えるモノ展」 in 台湾ー番外編
- 共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

---

(50) 賛助会員ニュース

▼「クラウドで話術向上／タカラトミー」

国内最大の玩具展示会「東京おもちゃショー2015」（日本玩具協会主催）が18日、東京ビッグサイトで開幕した。国内外の149社が出展し、最新の玩具3万5000点が展示されている。

目立ったのは技巧を凝らし、「飛ぶ」「浮く」など従来なかった動きをする商品。

会話などコミュニケーションを楽しむ商品も増えている。タカラトミーが10月に発売する「OHaNAS（オハナス）」は、NTTドコモの技術を利用し、人間同士の自然なやりとりに近づいた商品だ。話しかけるとドコモのクラウド型言語処理システムとつながり、発言者の意図を分析した上で答えてくれる。インターネットの最新の話題なども自動で調べて会話できる。

（日経産業新聞 6月19日7面より抜粋）

---

(51) 製品関連記事

▼「つえ ステキな相棒に 振動で危険伝達 LEDで周囲に通知／カインドウェア」

礼服製造大手で介護関連の衣料・雑貨も手がけるカインドウェアは高齢者向けのデジタル式つえの開発を始めた。体を支える役割に加え、振動や光によって歩行を支援する機能をつけた。今後はICT（情報通信技術）を活用して、

利用者の医療情報や交通情報も取得できるようにする。

このほどデジタル式のつえ「NS\_CANE」の第1弾を開発した。つえの先端にセンサーを組み込むことで、利用者の歩行を支援する機能を付けた。つえの先端が駅構内などに設置されている黄色い点字ブロックの色を認識。持ち手が振動して利用者に進行方向や危険な場所を知らせるほか、青色の発光ダイオード（LED）が光ることで周囲にも利用者の通行を知らせることができる。

（日経MJ 6月19日9面より抜粋）

#### ▼「エアコン、位置情報で操作／タド（tado°）」

ドイツ・ミュンヘンに拠点を置くハイテク企業、タド（tado°）は自宅にある遠隔操作できるエアコンやクーラーを、携帯電話を使って家の外から遠隔で操作・制御できる機器「Smart AC Control（スマート・エーシー・コントロール）」を発売した。携帯電話の位置情報を基に自宅を出るとエアコンの電源を自動で切り、帰宅する際に家が近づくとすぐ部屋の予冷を始める。

電車の中や職場など外出先のどこでも自宅の室温をモニター（監視）して、携帯電話経由で冷房の設定を簡単に変更できるので、電気代を最大4割節約できるという。機器はハックダイオード（LED）表示で、タッチで操作できる。

（日経産業新聞 6月19日15面より抜粋）

#### ▼「東芝エレベータ、車椅子2台同時乗車」

東芝エレベータは、鉄道の駅舎向けエレベーターの新機種を発売した。車椅子が2台同時に乗車できるよう、かご室の幅が1m、奥行きが2.4mと細長いタイプにした。乗り降りしやすいよう、通り抜けができる2カ所に扉を設けた。人間だけであれば15人乗車できる。

車椅子の利用者がボタンを押しやすいよう、操作盤をかご室の両側面に、前後の位置をずらして設置した。

（日経産業新聞 6月23日12面より抜粋）

#### ▼「農作業アシストスーツ 軽く・安く、農家支える／クボタ」

高齢化が進む国内の果樹農家にとって、農作業による体への負担を深刻な課題になっている。特に高い棚に枝を張る果物は、腕を一日中上げる作業も多く、肩や腰を痛めるケースが少なくない。そこで農機具大手のクボタが商

品開発に力を入れているのが、農作業をサポートするアシストスーツ。2013年に第1段として実用化した「ラクベスト」は、上に高く掲げた腕の位置をアシストスーツのアーム部分で支えることで、同じ体勢で長時間作用しても疲れにくくする。

農林水産省が5年ごとにまとめている農林業センサスによると、全国の果樹経営者のうち60歳以上が占める割合は10年時点で69.6%。前回調査に比べて上昇し、高齢化が一段と加速している。果樹栽培は枝の剪定（せんてい）や収穫など手作業に頼る部分が多く、省力化が大きなテーマになっている。

（日経MJ 6月29日14面より抜粋）

#### ▼「スズキ、電動で車いす引き上げ」

スズキは車椅子を載せられる軽自動車を刷新して発売した。対象は商用車の「エブリイ」「エブリイワゴン」、乗用の「スペーシア」の車椅子移動車3種。リモコンを使い、電動ウインチで車椅子を後部に引き上げることができる。エブリイワゴンとスペーシアには緊急時の自動ブレーキを搭載。スペーシアには紫外線カットガラスなどの装備も付けられる。

（日経産業新聞 6月29日18面より抜粋）

#### ▼「ドアから引き戸に変身／YKKAP」

YKKAPの玄関リフォーム商品で、引き戸から引き戸にリフォームする従来商品に「ドアからドア」「ドアから引き戸」の2パターンを加えた。同じデザイン・枠種なら全サイズ同一価格とし、1日で施工できるなどわかりやすい商品設定とした。業界初をうたう「ドアから引き戸」に替えるパターンは室外側にレールを設置して扉を室外側に引き込む「アウトセット式カバー工法」を採用。古い扉を取り外して新しい引き戸枠を取り付け、上レール、新しい扉などを外壁に固定せずに順に取り付ける。開きドアの有効開口部が、700mm程度の場合、引き戸は880mmにでき、車椅子などが出し入れしやすくなる。リフォーム後の様子をシミュレーションできる機能も用意した。

（日経産業新聞 7月1日15面より抜粋）

#### ▼「介護用靴、着脱しやすく サイズ調整楽に／徳武産業」

介護用シューズを製造・販売する徳武産業は、脱ぎ履きしやすいよう高齢者でもサイズを簡単に調整できる新製品を10月に売り出す。夜に車のライト

が当たると光る反射材をつま先やかかとに入れた靴も開発した。

新製品は米ボアテクノロジー社が開発した機構を取り入れた。スノーボードブーツなどに広く採用されている仕組みで、靴のかかとに取り付けたダイヤルを回すと、ワイヤーが伸縮し、かかとが外側に大きく広がったり、つま先部分が縮んだりする。ダイヤル式で着脱しやすくなるほか、力を入れずに足を合わせるができる。

痛みを抑える補装具を足首に付けていたり、足にむくみや腫れがあったりしても、スムーズに履けるようにした。

(日経MJ 7月3日9面より抜粋)

---

## (52) サービス関連記事

### ▼「車椅子用礼服レンタル/タキシードレンタル.com」

礼服の貸衣装宅配サービスを手掛ける「タキシードレンタル.COM」は、車椅子利用者のモーニングコートを開発し格安で貸し出す。上着の袖やズボンの一部を大きく開け、楽に着脱ができる工夫や、車いすに座った姿がきれいに見えるデザインを心がけた。

晩婚化に伴い、親の年齢層も高齢化という時代背景に応えたサービスという。運営はアイデアス(大阪市淀川区)。

(日経MJ 6月26日16面より抜粋)

---

## (53) 新刊紹介

### ▼『知っておきたい障がいのある人のSOS 4 体を動かしにくい人のSOS』

体を動かしにくい人は、どんなことに困っているのでしょうか。彼らが出しているSOSを読み取り、どのような手助けをすればよいのかを豊富な写真やイラストで紹介します。

著：河東田博(かとうだ・ひろし)

発行：ゆまに書房

本体価格：3000円(税別)

ISBN : 978-4-4833-4592-4

▼『知っておきたい障がいのある人の SOS 5 理解されにくい人の SOS』

見た目ではわからない障がいのために理解されにくい人は、どんなことに困っているのでしょうか。彼らが出している SOS を読み取り、どのような手助けをすればよいのかを豊富な写真やイラストで紹介します。

著：河東田博（かとうだ・ひろし）

発行：ゆまに書房

本体価格：3000 円（税別）

ISBN : 978-4-4833-4593-1

▼『知っておきたい障がいのある人の SOS 別巻 被災地の人の SOS』

東日本大震災の被災地で暮らしていた、障がいのある人たち。被災した時、彼らはどうしていたのか、その後どうしたのか、今どんな生活をし、どんなことに困っているのかを紹介します。

著：河東田博（かとうだ・ひろし）

発行：ゆまに書房

本体価格：3000 円（税別）

ISBN : 978-4-4833-4594-8

▼『私たちのしごと 障害者雇用の現場から』

障害がある人たちの職場進出が速度を増している。障害者当人はどんな思いでいるのか、受け入れ側はどう感じているのか。40 年近く彼らの働く姿を取材してきた写真家が、その現場をレポートし、新しい動きと今後の課題を探る。

著：小山博孝（こやま・ひろたか）

発行：岩波書店

本体価格：2400 円（税別）

ISBN : 978-4-00-061044-5

---

（編集後記）

5月にコペンハーゲンで、ISO（国際標準化機構）/TC 173（福祉用具の専門委員会）/SC 07（アクセシブルデザインの分科委員会）の総会が開催されました。その時に決議された、SC 07の適用範囲の変更に対するCIB投票（委員会投票）が始まっており、7月9日がその締切日です。SC 07の適用範囲では、注記として「assistive products（補助製品）」と「accessible design（アクセシブルデザイン）」はそれぞれISO 9999：2007（身体障害者用補助製品—用語と分類）とISO/IEC Guide 71（高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針）で定義されている、としています。しかし、既に両方の規格とも最新版が発行されているため、ISO 9999：2011とISO/IEC Guide 71：2014（規格におけるアクセシビリティ配慮のためのガイド）に変更するための投票です。

賛成多数で承認される見込みです。（松岡 光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>